

みやぎの食育通信

Vol.
56



「みやぎの食育通信」は、地域食材や「食」を通じた健康づくりのための情報を発信し、県民の皆様の食生活をサポートしていきます。

©宮城県・旭プロダクション

おかげさまで
大盛況!

平成28年度「みやぎ食育フォーラム」を開催しました!

11月の「みやぎ食育推進月間」の取組として、11月9日(水)に宮城県庁講堂にて『みやぎ食育フォーラム』を開催しました。基調講演では服部学園 服部栄養専門学校 理事長・校長の服部幸應氏より「食育を次世代へ伝えつなげるために」と題してご講演いただきました。また、事例発表ではみやぎ食育表彰受賞者より活動事例を紹介いただきました。参加者が300人を超える盛況ぶり、「食育」のつながりが実感できるイベントとなりました。(宮城県健康推進課)

【基調講演】 「食育を次世代へ伝えつなげるために」

講師 服部学園 服部栄養専門学校
理事長・校長 服部幸應 氏

現在の社会では、6つの「こ食」が問題となっています。1人で食べる「孤食」、家族で別々のものを食べる「個食」、同じ物ばかりを食べる「固食」、少量しか食べない「小食」、小麦等を主体とした「粉食」、味の濃い「濃食」です。

食育を通して、自ら学び、選択する力を習得していくことで、家族・地域をもっと健やかにしていきます。



【事例発表】 「みやぎ食育表彰」受賞者による事例発表



宮城県食育推進会議委員
佐藤敏悦 氏
をコーディネーターとして、受賞者より、活動事例を紹介いただきました。

○鷹泉閣岩松旅館 常務取締役調理部長 菱沼 文男 氏【みやぎ食育大賞】
「食育活動状況について」

6次産業化と遊休農地を活用。地域の新たな食材使った商品開発をすすめています。

○東松島食べる通信 編集長 太田 将司 氏 【みやぎ食育優良賞】
「『東松島食べる通信』の食育」

特集した生産者のつくる生産物が一緒に届く「食べもの付き情報誌」を発行しています。

○みやぎシニア食育コーディネーター 矢内 信孝 氏 【みやぎ食育優良賞】
「郷土の食文化研究・発信!～「食」で地域を元気にする～」

「おおさき食楽まつり」, 「おおさき料理対決」, 「児童・生徒への指導」で地域を元気にします。

「みやぎ食育表彰」受賞者決定！

表彰式がおこなわれました

受賞 おめでとうございます！

「みやぎ食育表彰」は、毎年、教育・食生活改善・農林漁業・食品産業などの分野において、食育の取組を積極的に実践している個人、団体及び企業の方々を表彰するものです。

今年度は、「みやぎ食育大賞」1団体（個人）、「みやぎ食育優良賞」2団体（個人）、「みやぎ食育奨励賞」5団体（個人）が選ばれ、11月9日開催の「みやぎ食育フォーラム」において表彰式が行われました。



みやぎ食育大賞

菱沼 文男

鷹泉閣岩松旅館常務取締役調理部長

「生産者が一生懸命作った食材の命を食べ尽くす」ことの大切さ、「食の時間に培われる日本人の味覚と、美しい膳」を伝承。

みやぎ食育優良賞

東松島食べる通信

「東松島食べる通信」の食育

矢内 信孝

みやぎシニア食育コーディネーター
鳴子温泉湯元吉祥 料理長

郷土の食文化研究・発信！～「食」で地域を元気にする～

みやぎ食育奨励賞

ていざん子ども食堂

芳賀よみ子, 芳賀幸恵

キャベツクラブ

白石市食生活改善推進委員会

女川町・清水ふれあい農園

(敬称略)

食材月間

11月は「すくすくみやぎっ子 みやぎのふるさと食材月間」です！

宮城県では、毎年11月を「すくすくみやぎっ子 みやぎのふるさと食材月間」と定め、学校給食における県産農林水産物の積極的な活用を目指して普及啓発を図っています。

また、学校給食における地域食材利用促進のため、県産野菜の一次加工品利用を推進しており、実現に向けて取組中です。成果については下記HP等で随時公表していく予定です。



「給食だより」にイラストをご活用ください！

【みやぎのふるさと食材月間
イメージキャラクター】
「むすび丸とガンガン」



【県産野菜を一次加工した給食用素材のサンプル】

※宮城県内の学校給食における地場産物活用率については、下記からご覧いただけます。

(学校給食における地産地消の推進HP) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/noenkan/kyushoku.html>

宮城県 農産園芸環境課 農産食糧班